

事業所名	指定番号
〇〇工場	〇〇〇〇

4 モニタリング方法  
 <算定対象年度>  
 (注) 排出活動ごとに本用紙

**排出活動「番号3」の記入例です。  
 ※ここでは提示していない「番号1、2」の排出活動も、それぞれ同様に作成してください。**

番号	排出活動	ガス種
3	半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるHFCの使用	HFC

「その4」で入力した番号ごとに、複数作成してください。

(1) 算定方法

番号	適用範囲	算定手法	算定式	有効 けた数	把握するデータ項目			
					a	b	c	d
3-1	半導体製造時のドライエッチング	排出係数による計算	$a \times b - c$	2	使用量(t HFC)	排出量原単位 (tHFC/t HFC)	回収・適正処理量(tHFC)	

<上記の算定方法の採用理由>

排出活動の種別から、その他ガス削減量算定ガイドラインに示す方法を採用した。

(2) データの把握方法

データ項目	測定・設定方法 (計器、証票、出典、サンプリング方法、測定頻度、測定点等)	データ記録・管理方法	有効 けた数
3-1-a	使用量=購入量+期首在庫量-期末在庫量として購入量は購入伝票で、在庫量は在庫管理記録により把握する。	購入伝票は経理部門で保管し、購入量データを抽出して環境部門で記録。また在庫管理記録は購買部門で管理し、そのデータを環境部門で記録。	2
3-1-b	温対法に基づく「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」の係数を採用	算定時においては、公表している最新値を確認する。	2
3-1-c	HFCの回収・処理業者から提供を受けた回収記録から把握する。	回収記録を環境部門で保管し、電子データとして記録	2
	<p>「排出係数」及び「モデルの設定方法」について、次の文書<b>以外</b>のものを採用する場合は、<b>科学的妥当性を確認するための資料</b>を添付してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際的な公的文書（IPCCガイドライン等）</li> <li>・環境省・経済産業省で公表している公的文書（温対法の関連資料等）</li> <li>・東京都が示す方法（各種ガイドライン、指針等）</li> </ul>		

<上記のデータ把握方法の採用理由>

使用量についてはラインへの直接投入量は連続測定していないため、購入量と在庫量から求めることとした。購入量は取引において会計データと連動しているため信頼性が高いと判断している。排出係数は、環境省・経済産業省で公表している排出係数の最新値を採用した。また回収・適正処理量は回収・破壊業者から回収記録の報告を受けておりこれに基づき取引を行っているため回収量として信頼性があると判断した。